

マーケットの動き (2023年5月1日～5月2日)

先週の国内株式市場は、前週末比で上昇しました。

FOMC (米国連邦公開市場委員会) を2～3日に控え様子見姿勢が強かったものの、前週末の円安・米ドル高の進行を好感、半導体関連株の上昇も追い風となり、日経平均株価は昨年8月以来となる2万9,000円台まで回復しました。

投資環境見通し (2023年5月)

国内株式相場は、底堅く推移

企業業績については、米国や欧州における景気減速懸念が下押し圧力となりますが、インバウンド需要や新型コロナウイルスの感染症法上の類型変更によって内需が拡大するとの見方から、年度通期の見通しは次第に持ち直すとみています。国内株式相場は、米国や欧州におけるこれまでの利上げを受けた景気減速懸念が高まりやすい状況にある中、日銀が新総裁の下で長短金利操作を修正するとの警戒感が下押し要因になるとみられます。ただし、日銀が緩和的な金融政策自体を早期に修正する可能性は低いとみられることに加え、新型コロナウイルスの類型変更や中国経済再開が内需拡大を支援するとみられ、さらに企業の潤沢な手元資金を背景に自社株買いの動きが続くと見られ、底堅く推移するとみています。

	5月2日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX (東証株価指数)	2,075.53	0.88%	3.60%	6.96%	9.33%
日経平均株価	29,157.95	1.04%	3.98%	5.40%	8.72%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

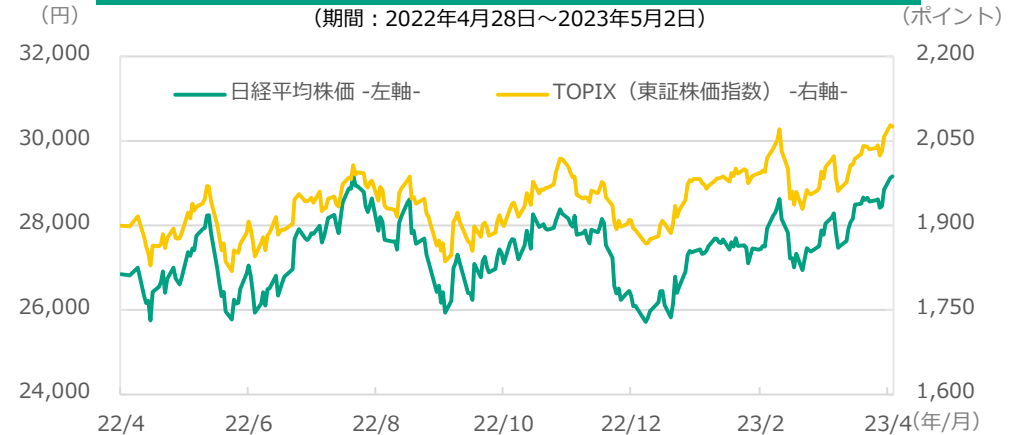
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202305_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し(総合)の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

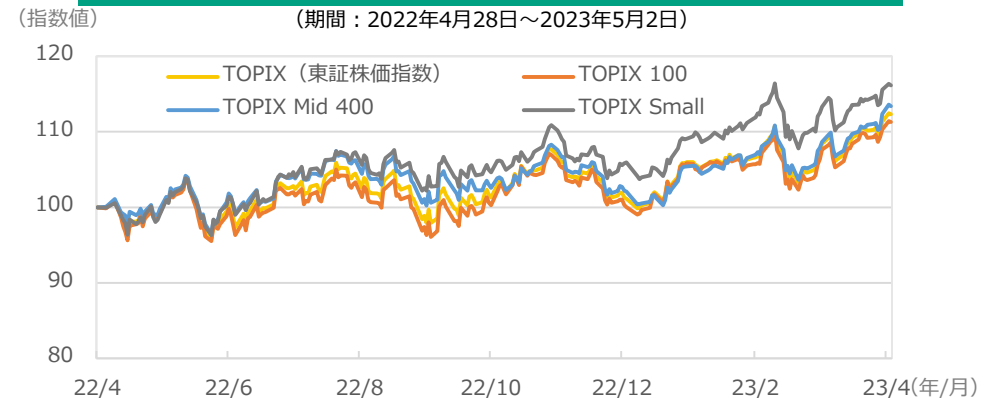
日経平均株価、TOPIXの推移

(期間：2022年4月28日～2023年5月2日)



TOPIX規模別指数の推移

(期間：2022年4月28日～2023年5月2日)



※2022年4月28日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成